



# 桜橋から永代橋 隅田川川辺散策と 橋ものがたり

## 隅田川テラス

### 隅田川テラス

隅田川の左右両岸には散策路が順次整備されています。平日の昼時にはサラリーマンやOLが休憩する姿が見られ、休日にはジョギングや犬の散歩をする近隣住民の姿が見られます。

### 吾妻橋 安永3年(1774)創架

橋名ははじめ「大川橋」と呼ばれたが、俗に江戸の東にあるために町民たちには「東橋」と呼ばれており、後に慶賀名として「吾妻」とされた説と、東岸方面の向島にある「吾嬬神社」へと通ずる道であったことから転じて「吾妻」となった説がある。

明治9年(1876)2月に木橋として最後の架け替えが行われた際に正式に現在の橋名である「吾妻橋」と命名された。



左に見えるのが吾妻橋



### 新大橋 元禄6年(1694)創架

「大橋」とよばれた両国橋に続く橋として「新大橋」と名づけられた。江戸幕府5代将軍・徳川綱吉の生母・桂昌院が、橋が少なく不便を強いられていた江戸市民のために、架橋を将軍に勧めたと伝えられている。



隅田川の優雅な船旅が楽しめる水上バス。



葛飾北斎「冨嶽三十六景色 御厩川岸 両国橋夕陽見」左が1830年頃の両国橋。



### 両国橋

創架年は万治2年(1659)と寛文元年(1661)と2説ある。名称は当初「大橋」と名付けられていた。しかしながら西側が武蔵国、東側が下総国と2つの国にまたがっていたことから俗に両国橋と呼ばれ、元禄6年に新大橋が架橋されると正式名称となった。

### 永代橋 元禄11年(1698)創架

赤穂義士が引き揚げのとき渡ったことで有名な永代橋は、第5代将軍・徳川綱吉の50歳の誕生日を記念して架橋。「永代橋」という名称は当時佐賀町付近が「永代島」と呼ばれていたからという説と、徳川幕府が未永く代々続くようにという慶賀名という説がある。

文化4年(1807)には富岡八幡の祭礼の群衆の重さで橋が破れ、1500人余が隅田川に落ちるといふ惨事が起きた。

